

附

錄

附 錄

第一、米國提出條約案全文（假譯）

兵器製造取引取締及常設軍縮委員會設置ヲ目的トスル條約案

（昭和九年十一月二十日露府一般軍縮會議幹部會ニ於ケル米國代表部ノ提案）

第一章

第一條 本條約ノ目的ノ爲兵器及軍用器材ヲ左ノ五類ニ分ツ

第一類 專ラ陸上、海上及空中戰ヲ目的トシテ考案及計畫セラレタル兵器、彈藥及軍用器材

(イ) 專ラ陸上、海上及空中戰ヲ目的トシテ考案及計畫セラレタル兵器、彈藥及器材中他ノ類ニ包含セラレル兵器、彈

藥及器材ハ右ノ定義ニ含マル場合ト雖モ之ヲ除外ス

此種兵器、彈藥及器材ハ左ノ如ク之ヲ分類ス

- (1) 施綫銃及騎銃
- (2) 一切ノ口徑ノ機關銃、自働小銃及機關拳銃
- (3) 一切ノ口徑ノ大砲、榴彈砲及臼砲
- (4) 前記兵器ノ用ニ供スル架臺、附屬品仕掛及裝置
- (5) 右(1)、(2)、及(3)ニ列舉セル兵器用ノ彈藥及發射物
- (6) 手投爆彈、爆彈、魚雷、爆雷、機雷及其ノ使用又ハ發射ノ爲ノ裝置
- (7) 戰車及軍用裝甲自動車

(ロ) 前記(イ)ニ含マル兵器ノ完成若ハ完全ニ施行セラレタル構成部分ニシテ專ラ右兵器ノ豫備部分トシテ又ハ其ノ組立若ハ修繕ノ爲ニノミ利用セラレルモノ

第二類 海軍兵裝

(1) 航空母艦及潛水艦ヲ含ム一切ノ種類ノ軍艦並ニ其ノ艦上ニ搭載セラレ且其ノ常備兵裝ノ一部ヲ爲ス兵器、彈藥及軍用器材ヲ含ム

第三類 空軍兵裝

- (イ) (1) 空氣ヨリ重キト輕キトヲ問ハス各種航空機ニシテ機關銃若ハ大砲ノ使用ニ依リ又ハ爆彈ヲ搭載若ハ投下シ又ハ防禦裝甲ヲ有スルコトニ依リ陸上又ハ海上ノ偵察又ハ空中戰闘ノ爲ニ考案適合若ハ計畫セラレタルモノ
- (2) 爆彈照準機及架臺、爆彈架及爆彈投下裝置、航空機砲及砲架及其ノ使用ノ爲ノ裝置
- (3) 航空機用發動機ハ本條約中兵器ノ取引ニ關スル規定ニ從フヘク其ノ製造ニ關スル規定ニ拘ラサルモノトス
- (4) (1)、(2)及(3)ニ掲ケラルル各種航空機裝置及裝備ノ製造過程ニアル構成部分ニシテ專ラ組立、修繕ニ若ハ豫備部分品トシテノミ利用セララルモノ

第四類 軍用及非軍用ノ兩目的ニ使用セラレ得ル兵器及彈藥

- (イ) (1) 元來陸上、海上若ハ空中戰ノ爲考案及計畫セラレタルモノナルモ既ニ之ヲ輸出セントスル國家又ハ之ヲ輸入セントスル國家ノ標準ニ遠サカリ其ノ現行兵裝ニ包含セラレ居ラサル或ハ軍用ト同時ニ其ノ他ノ用ニモ供セラレ得ル兵器及彈藥
- (2) 第一類ニ記載セラレタル火器ヲ以テ發火シ得ル彈藥ヲ發火スル其ノ他ノ施銃火器
- (ロ) 右 (イ) ニ包含セララルル兵器ノ完成若ハ完全ニ施工セラレタル構成部分ニシテ專ラ其ノ豫備部分品トシテ又ハ組立若ハ修繕ニノミ利用セララルモノ

第五類 非軍用ニ考案及計畫セラレタルモ單ニ臨時ニ及例外的ニ軍事上ノ目的ニ使用シ得ル兵器及彈藥

- (1) 各種滑腔銃及其ノ彈藥
- (2) 片手用ニ考案セラレタル連發拳銃及自動拳銃並ニ其ノ彈藥
- (3) 遊技用銃及其ノ彈藥

第二章 兵器及軍用器材ノ製造ニ對スル規定

第二條 兵器及軍用器材ノ製造及取引ハ國際秩序ニ關係スル事項ナルニ鑑ミ締約國ハ其ノ各々ノ管轄下ノ領域内ニ於ケル

右事項ノ取締ニ對シ完全ナル責任ヲ負フ

第三條 締約國ハ兵器及軍用器材ノ製造及取引ノ監視監督ヲ最モ嚴格ニ勵行スル爲必要ナル法律規定ヲ制定スルコトヲ約ス

締約國ハ本條ノ規定スル所ニ從ヒ其ノ各々ノ管轄下ニアル領域内ニ於ケル兵器及軍用器材ノ製造及取引ニ對シテ制定施行セラレタル國家取締ノ諸規定ヲ委員會ニ通報スヘシ

第四條 締約國ハ兵器及軍用器材ノ製造、輸出及輸入カ本條約ノ規定ニ適合スルコトヲ確認スル目的ヲ以テ第四章ニ規定セラレタル恒久的且自動的監督ノ制度ニ順フヘキコトヲ約ス

第五條 締約國ハ其ノ各々ノ管轄下ニアル領域内ニ於テ第一條第一、二及三類ニ規定スル兵器及軍用器材ノ製造ハ製造業者ニ於テ政府ヨリ發給セラレタル製造許可證ヲ入手シタル上ニアラサレハ之ヲ許可セサルヘキヲ約ス

第六條 製造許可證ノ有効期間ハ五年ヲ超エサルヘク其ノ後ノ期間ニ付テハ政府ノ決定ニ從ツテ之ヲ更新スルコトヲ得ヘシ右許可證ニハ特ニ左ノ諸項ヲ明示スルヲ要ス

- (1) 製造業者ノ氏名、住所或ハ會社名、主タル事務所及其ノ經營ニ屬スル主タル工場
- (2) 製造ヲ認可セラレタル軍用器材(第一條ノ明示スル所ニ從ヒ兵器ノ類、兵器若ハ構成部分)ノ説明許可證ニハ更ニ製造業者ニ於テ受取リタル一切ノ注文ハ許可證ヲ許與シタル政府ニ對シ直ニ之ヲ通告スヘキ旨ヲ記載スルヲ要ス

第七條 締約國ハ其ノ各々ノ管轄ニ屬スル限リニ於テ常設軍縮委員會ニ對シテ就中左ノ諸項ヲ送付スヘシ

- (イ) 本條約效力發生後三ヶ月以内ニ國營兵器廠一覽表ニ其ノ各々カ製造スルコトヲ得ル軍用器材(兵器ノ類、兵器、構成部分)ノ説明ヲ附シタルモノ、右ノ一覽表及説明ノ内容ニ變更ヲ來シタルトキハ其ノ都度其ノ次第
- (ロ) 一切ノ製造許可證ヲ許與若ハ更新シタルトキハ右許可證ノ許與若ハ更新ヨリ三十日以内ニ其ノ寫

(ハ) 許可證ヲ保持スル製造所及國營兵器廠ニ於テ何レノ方面ヨリニテモ注文ヲ受ケタルトキハ右注文受領ヨリ三十日以内ニ其ノ注文表

(ニ) 曆年終了後三ヶ月以内ニ當該年度中行ハレタル一切ノ製造ニ關スル報告

第三章 兵器及軍用器材ノ取引ニ關スル規定

第八條 締約國ハ其ノ管轄下ノ領域内ニ於テ第一條第一乃至第五ノ各類ニ屬スル物件ノ輸出又ハ第一條第一乃至第三ノ各類ニ屬スル物件ノ輸入ハ政府ノ發給ニ係ル輸出又ハ輸入許可證ヲ有スルニアラサレハ之ヲ許可セサルヘキヲ約ス

輸出許可證ニハ左ノ諸項ノ記載ヲ要ス

(イ) 船積ヲ認可セラルル軍用器材(兵器ノ類、兵器、構成部分)ノ説明、其ノ數量若ハ重量

(ロ) 輸出者ノ氏名及住所並ニ製造認可ニ關スル記述

(ハ) 輸入荷受人ノ氏名及住所

(ニ) 第一、二及三類ニ包含セラルル物件ノ出荷ニ關シテハ輸入ヲ認可シタル政府名及右政府發給ノ輸入許可證ニ關スル

記述

第一、二及三類ニ包含セラルル軍用器材ノ輸入許可證ニハ左ノ諸項ノ記載ヲ要ス

(イ) 船積ヲ認可セラルル軍用器材(兵器ノ類、兵器、構成部分)ノ説明、其ノ數量若ハ重量

(ロ) 輸出者ノ氏名及住所

(ハ) 輸入荷受人ノ氏名及住所

第九條 締約國ハ其ノ各々ノ管轄ニ屬スル限リニ於テ常設軍縮委員會ニ對シ就中一切ノ輸入及輸出許可證ノ寫ヲ右許可證記載ノ兵器及軍用器材ノ領域ニ到着若ハ領域ヨリ發送ノ期日ニ先ツテ送付スヘク又更ニ曆年終了三ヶ月以内ニ當該年度内ニ行ハレタル一切ノ輸入及輸出ニ關スル聲明ヲ送付スヘシ

第十條 締約國ハ其ノ各々ノ管轄下ノ領域内ニ於テ第一、二及三類ニ包含セラルル物品ハ次ノ條件ニ從フニアラサレハ之ヲ輸出シ若ハ其ノ輸出ヲ許可セサルヘキヲ約ス

輸出ハ輸入國ノ政府又ハ斯ル政府ノ同意ヲ得タル之ニ從屬スル官憲ニ對スル直接ノ供給タルコトヲ要ス

第十一條 但個人ニ供給スル爲ノ輸出ハ次ノ場合ニ於テ許可セラルヘシ

(1) 第一類ニ包含セラルル物件ニ付テハ輸入國政府ニ於テ其ノ輸入ヲ正當ニ認可シタル場合ニ於テ自己ノ業務ノ必要上其ノ用ニ供セントスル軍用品製造業者ニ宛テ直接輸出セラレタルトキ

(2) 施銃銃及騎銃並ニ其ノ彈藥ニ付テハ其ノ輸入カ本條約ノ他ノ規定ノ何レニモ違反セサル場合ニ於テ個人ノ遊技獎勵ノ爲構成セラレ且當該國政府ニ依テ其ノ使用ヲ認可セラレタル射擊協會ニ供給スル爲輸出セラレタルトキ、此ノ場合右ノ兵器及彈藥ハ輸入國ノ政府ニ對シテ直接送付スルヲ要シ其ノ供給ヲ受クル協會ニ對シテハ右ノ政府ヨリ轉交スルモノトス

(3) 第一類ニ包含セラルル物件ノ見本ニシテ展觀ノ用ニ供スル目的ヲ以テ輸出製造業者ノ商代表者ニ對シテ直接ニ輸出セラレタルトキ此ノ場合右代表者ニ於テ輸入國政府ニ依リ其ノ受領ヲ正當ニ認可セラレタルコトヲ要ス

第十二條 締約國ハ其ノ管轄下ニアル領域内ニ於テ第一條第四類ニ包含セラレタル物件ハ第三章第八條ニ規定セララルル輸出國政府ノ發給ニ係ル輸出許可證及輸入國當該官憲ノ發シタル領事查證ヲ有スルニアラサレハ之ヲ輸出シ若ハ其ノ輸出ヲ許可セサルヘキヲ約ス

第十三條 締約國ハ其ノ管轄下ニアル領域内ニ於テ第一條第五類ニ包含セラレタル物件ハ第三章第八條ニ規定セララルル輸出國政府ノ發給ニ係ル輸出許可證ヲ有スルニアラサレハ之ヲ輸出シ若ハ其ノ輸出ヲ許可セサルヘキヲ約ス

第十四條 締約國ハ他國政府ノ爲ニ起工若ハ竣工シタル軍艦ノ各ニ付其ノ起工及竣工ノ日ヨリ夫々一ヶ月以内ニ常設軍縮委員會ニ對シテ下記細目事項ヲ通告スルコトヲ要ス

- (イ) 龍骨据附ノ日並ニ次ノ細目艦船ノ艦種別並ニ建造注文主
噸及「メートル」式噸ニ依ル基準排水量
主要寸法―即チ水線全長、水線ニ於ケル又ハ水線下ノ最大幅員
基準排水量ニ於ケル平均吃水
最大備砲ノ口徑

(ロ) 竣工ノ日及其ノ日ニ於ケル當該艦船ニ關スル前記細目

毎四半期終了ヨリ六ヶ月以内ニ當該四半期中其ノ領域内ニ於テ他國政府ノ爲ニ起工若ハ竣工シタル制限外ノ一切ノ軍艦ニ關シ前記細目ヲ示ス報告ヲ作成シ之ヲ常設委員會ニ提出スヘシ

第十五條 締約國ハ第一條規定ノ物件ニシテ非締約國ノ領域ヨリ來ルモノニ對シ締約國ノ領域ヨリ來ル同種ノ輸入ニ對シテ適用スヘキヨリモ有利ナル取締ヲ適用セサルヘク又其ノ由來地ノ如何ヲ問ハス此種輸入又ハ非締約國ニ對スル輸出ハ共ニ認可及出來得ル限り公表ニ付同一ノ條件ノ下ニ置クヘキコトヲ約ス

第十六條 條約國ハ輸出許可證及輸入許可證ニ關スル本條約ノ規定ハ次ノ諸項ニハ適用セサルヘキコトヲ約ス

(イ) 締約國ノ主權、法域、保護若ハ後見ニ屬スル地域ヨリ其ノ駐屯地ノ如何ヲ問ハス當該締約國ノ軍隊ノ用ニ供スル爲之ニ送達セラレタル兵器、彈藥若クハ軍用器材

(ロ) 右種軍隊ノ各個人員若ハ締約國ノ役務ニ服スル其ノ他ノ人員ノ携帯スル所ニシテ其ノ職務上ノ理由ニ依リ必要ナル兵器又ハ彈藥

(ハ) 射撃俱樂部員カ國際射撃競技ニ於テ單ナル個人用ノ目的ヲ以テ携帯スル施銃銃、騎銃及右ニ必要ナル彈藥

第四章 常設軍縮委員會ノ構成、職務及事業

第十七條 國際聯盟本部所在地ニ締約國政府代表者ヲ以テ構成スル常設軍縮委員會ヲ設立ス、右ノ各國政府ハ委員會ノ一

員ヲ任命スヘシ、各委員ハ代理及専門家ヲ伴フコトヲ得

各締約國政府ハ其ノ代表、代表代理及専門家ノ任命及更迭ヲ爲スニ當リ國際聯盟事務總長ニ對シテ其ノ氏名ヲ通告スヘシ
第十八條 委員會ハ締約國カ自國ノ代表ニ隨伴セシムル爲任命シタルモノニアラサル専門家ヲ自ラ選任シ其ノ協力ヲ求めルコトヲ得、但右専門家ハ調査若クハ特別調査委員會ニ隨伴スルコトヲ得サルモノトス

第十九條 國際聯盟事務總長ハ委員會ニ事務局ヲ提供ス

第二十條 常設軍縮委員會ハ本條約ノ實施ヲ注視シ之ニ關シテ報告スルヲ任トシ右目的ノ爲下記ノ事業ヲ遂行ス

- (1) 本條約ノ規定ニ基キテ供セラレタル資料ノ檢討
- (2) 兵器ノ製造及取引ニ對スル適當ナル公表制度ノ確立
- (3) 恒久的且自動的審査制度ノ確立
- (4) 必要ニ應ジテ特別調査ノ開始

第二十一條 委員會ハ締約國カ本條約ニ基ク義務ノ履行ノ爲提供スル資料ヲ受領シ、之ヲ整理シ及之カ檢討ヲ爲ス

第二十二條 本條約ノ實施ヲ注視スル目的ヲ以テ委員會ハ其ノ受領シタル資料檢討ノ結果ヲ公表スヘシ

第二十三條 委員會ハ毎四半期終了後三ヶ月以内ニ、本條約第六條及八條ノ規定ニ基キテ供セラレタル資料ヲ正當ニ整理シ兵器及軍用器材ノ製造及取引ノ注文ニ關スル事態ヲ明確ナラシムル統計ヲ公表スヘシ、委員會ハ同様毎年兵器及軍用器材ノ生産ヲ示ス正當ニ整理セラレタル一覽表ヲ公表スヘシ

第二十四條 本條約ニ定ムル義務ノ範圍内ニ於テ委員會ハ締約國ニ對シ文書又ハ口頭ヲ以テ本條約第三條、第六條、第七條、第八條、第九條、第十四條及第十五條ノ規定ニ基キテ供セラレタル資料ニ關シ補足事項又ハ説明ノ提出ヲ求めルコトヲ得委員會ハ責任アル筋ヨリ到來シ且本條約第二十條規定ノ職務遂行上適切ナリト認メラルル他ノ資料ヲモ考慮ニ入ルコトヲ得

常設軍縮委員會委員ノ提出セル資料ハ如何ナル場合ニモ委員會ニ於テ之ヲ檢討スルヲ要ス

第二十五條 委員會ハ其ノ檢討中ニ屬スル問題ニ對シ何等カノ指針ヲ與ヘ得ル地位ニアル何人ニモ意見ヲ徴シ又ハ之ニ諮問スルコトヲ得

第二十六條 本條約ニ定ムル義務ノ範圍内ニ於テ委員會ハ毎年、又ハ其ノ決定ニ從ツテ更ニ短キ期間毎ニ、締約國ノ各々ノ領域ニ於テ締約國カ兵器及軍用器材ノ製造及取引ニ對シテ實施スル國家取締ノ狀況、右取締ノ運用及其ノ提供ニ係ル資料ノ精確ナリヤ否ヤニ付檢討スルコトヲ得

右目的ノ爲委員會ハ本條ニ規定スル實地調査ニ赴クヲ任務トスル委員會ヲ創設スヘシ

委員會ハ右委員會團ノ構成ヲ決定シ次ノ規則ノ範圍内ニ於テ指令ヲ發スヘシ

(イ) 委員會ハ調査委員會團ノ數及右ニ割當テラルヘキ地域ヲ決定スヘシ

同一委員會團ノ管轄ニ屬スル國家團體ノ構成ハ相互ニ外交關係ヲ維持セサル國家ヲ包括セサルカ如キ方法ニ依リテ決定スヘシ

委員會ハ隨時右構成ヲ變更スルコトヲ得

(ロ) 調査委員會團委員ハ委員會之ヲ任命ス

一 委員會團ノ管轄下ノ地域群ニ屬スル總テノ國家ハ右ニ對シテ絶對ニ平等ナル基礎ノ上ニ代表セラルヘシ、各委員會團ハ右ノ外他國ノ人民ヲ包含スヘシ

委員會團カ一國領域内ノ實地調査ニ赴キツツアル間右國家ノ委員ハ一時的且調査ノ終了スル迄委員會團ニ列スル權利ヲ失フ

他方調査ヲ受クル國家ハ右調査ノ間委員會團ニ隨伴スヘキ一名若ハ夫以上ノ參與員ヲ任命スヘシ、右參與員ハ委員會團任務ノ遂行ヲ容易ナラシムル爲常ニ委員會團ノ意ニ添フヘシ、委員會團ハ其ノ調査ニ際シ參與員ノ之ニ列スル權利ヲ拒

ムコトヲ得ス

(ハ) 委員會團議長ノ職ハ各委員ニ於テ順次之ヲ保持ス、順位ハ抽籤ニ依リテ之ヲ定ム

(ニ) 委員會團ハ委員會ヨリ受ケタル指令ニ從ヒ各調査ノ計畫ヲ起草スヘシ

(ホ) 委員會團ノ唯一ノ任務ハ事實ノ確立ニアリ就中、委員會團ハ地方及文武官憲ニ對シテ命令ヲ發シ又ハ意見ヲ述フヘカラス、是等官憲ヨリノ援助ヲ必要トスルトキハ調査ヲ受クル國家ヲ代表スル參與員ヲ通シテ之ヲ請フヘシ

參與員ハ右目的ノ爲必要ナル一切ノ權限ヲ授ケラレタル訓令文書ヲ保持スルヲ要ス

第二十七條 締約國ハ委員會ニ對シテ其ノ領域内ニ於ケル本條約ノ義務ノ履行ヲ確認スル爲必要ナルヘキ調査ノ實行ヲ要求スルコトヲ得

右ノ要求ヲ受ケタルトキハ委員會ハ其ノ效果ヲ舉クル爲且右調査ノ範圍ヲ定メ又調査ノ行ハルヘキ條件ヲ定ムル爲直ニ會合スヘシ但右ノ要求ヲナシタル締約國ニ於テ委員會評議ノ結果ニ満足シタル場合ニ於テハ委員會ハ右ノ調査ヲ爲ササルコトニ決スルコトヲ得ルモノトス

第二十八條 若シ締約國ノ一カ本條約ノ規定ニシテ侵害セラレタリトノ意見ヲ有スルトキハ斯ル締約國ハ之ヲ委員會ニ出訴スルコトヲ得

委員會ハ右事態ヲ審議スル爲直ニ會合シ且義務履行ノ態度ニ付異議ノ申立ヲ爲サレタル締約國ヲ招キテ有益ナルヘキ一切ノ説明ヲ提出セシムヘシ

委員會カ右ノ出訴ヲ以テ特別調査ニ値スルモノナリト決定シタル場合ニ於テ該締約國領域ニ於ケル調査ヲ實行スルコトノ決定ハ當該會合ニ於ケル出缺ノ如何ニ拘ラス委員會全員ノ三分ノ二ノ多數ヲ以テ決定スヘシ

本條ニ規定セル特別調査ハ本目的ノ爲ニ創設セラレタル特別委員會團ニ於テ之ヲ行フモノトス、右特別調査團體ハ關係國ヲ包含スル團體以外ノ地域團體ニ屬スル國家ノ委員ノ多數ヲ以テ構成セラルヘシ

異議ノ申立ヲ爲シタル國家及特別調査ヲ受クル國家ハ特別委員會ニ委員ヲ以テ代表セラレサルヘキモ右調査ノ施行中委員會ニ隨伴スヘキ一人若ハ夫以上ノ參與員ヲ命名スヘシ

第二十九條 第二十六條、第二十七條及第二十八條ニ從ツテ決定セラレタル調査ノ結果ハ其ノ都度委員會ノ特別報告トナ、ルヘク右ハ締約國ニ對スル勸告ヲ含ムコトヲ得

第三十條(1) 常設軍縮委員會ハ其ノ本部所在地ニ於テ調査ヲ爲スニ當リ第七條、第九條及第十四條ノ履行トシテ提出セラレタル資料ニ對シ補足的資料ノ必要ナルカ又ハ望マシト認メラルル場合ニ於テ常設軍縮委員會ハ必要ノ締約國ニ對シテ右ヲ要請スルコトヲ得右ノ要請ハ通常ノ場合常設委員會ニ於ケルスル締約國代表ヲ通シテ之ヲ爲スヘシ締約國ハ、關係資料カ下記本條第(4)項ニ定メラレタル免除ノ範圍内ニアルコト確認セラレタル場合ニ於テ求メラレタル資料ノ提供ヲ拒ミ得ル權利ノ留保ノ下ニ右ノ要請ニ應シ同委員會ニ於ケル代表ヲ通シ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リテ必要ノ資料ヲ提供スヘキコトヲ約ス

(2) 常設軍縮委員會ハ其ノ本部所在地ニ於テ調査ヲ行フニ際シ自發的ニ現ハレタル證人ヲ查問スルノ特權ヲ有ス、斯ル查問ニ對シテハ完全ナル記錄ヲ作成スルヲ要ス、何レノ締約國ノ人民ト雖モ常設軍縮委員會ニ於ケル同國代表ニ於テ其ノ查問ニ關シ豫メ正當ニ通知セラレ居リ且其ノ席ニ列スル機會ヲ與ヘラレタル上ニアラサレハ右ノ查問ヲ受クルコトヲ得ス

(3) 常設軍縮委員會又ハ其ノ委員會團カ其ノ本部所在地以外ノ地ニ於テ調査ヲ行フニ際シテハ調査手續ハ次ニ定ムル所ニ限ラルヘシ

(イ) 締約國ノ任命ニ係リ本條約實施細目ノ掌ニ當ル締約國ノ責任アル官吏又ハ使用人ノ宣誓ニ依ル查問

(ロ) 右(イ)ニ掲ケラレタル官吏ノ取締又ハ管轄ニ屬スル適切ナル文書ノ審査

(ハ) 締約國ノ「政府ノ官吏以外」ノ人民ニシテ當時其ノ領域ニアルモノノ宣誓ニ依ル查問、締約國ハ出來得ル限りノ

手段ヲ盡シテ常設軍縮委員會又ハ其ノ委員會團ニ於テ列席ヲ希望スル此種人士ノ利用ノ途ヲ講スヘキヲ約ス

(ニ) 右(イ)(ロ)及(ハ)ニ規定スル查問ハ完全ニ記錄セラレ且調査ヲ受クル締約國ノ任命セル代表ノ列席ノ上ニ於テ爲サルルコトヲ要ス

(4) 本條約ニ規定スル何レノ調査ノ實行ニアタリテモ次ノ諸項ノ一部及全部ニ關涉スル資料ハ常設軍縮委員會又ハ其ノ委員會團ニ對スル提供ヲ免除セラルヘシ

(イ) 設計ノ技術的細目、物質ノ物理及科學的構成、製造過程其他右ニ關聯スル事項ニシテ通商又ハ國防上ノ機密ニ互ル事項

(ロ) 公私記錄ニシテ生産費、利潤、信用設定ノ便宜、事業ノ財政内情、現實ニ成立若ハ協定セラレタル注文ハ別トシ豫見セラレタル注文主トノ通信、製造技術及生産高ニ加ヘ得ヘキ將來ノ進展ニ對スル研究及計畫並ニ専ラ原料品、半製構成成品及製造裝置ノ根源ニ關スル研究ヲ含ム資料

(ハ) 貯藏原料品

第三十一條 委員會委員ノ各々ハ委員會報告ノ何レニ對シテモ、自己ノ爲セル意見又ハ提示カ、必要アラハ別個ノ報告トシテ、參酌セラレンコトヲ要求スルコトヲ得

第三十二條 一切ノ委員會報告ハ直ニ締約國及國際聯盟理事會ニ通告セララルヲ要ス

第三十三條 委員會ハ更ニ締約國カ其ノ軍備ニ關シテ之ニ關スル國際義務ノ履行トシテ國際聯盟事務總長ニ通告スヘキ資料ヲ受領シ及之ヲ公表セシムヘシ、委員會ハ右ノ資料ニ付締約國ニ對シ文書又ハ口頭ヲ以テ補足的資料又ハ説明ノ提出ヲ要請スルコトヲ得

第三十四條 委員會ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ國際聯盟理事會ニ對シ理事會ノ要請スル資料及意見ヲ供給スヘシ

第三十五條 本條約ノ效力發生ヨリ三ヶ月以内ニ國際聯盟事務總長ノ招請ニ應シ委員會ハ其ノ第一回會合ヲ爲シ臨時議長

及副議長ノ選舉及議事規則ノ起草ヲナスヘシ

以降ニ於テ委員會ハ通常ノ會議ニ於テ少クモ年一回其ノ議事規則ノ定ムル期日ニ會合スヘシ

委員會ハ次ノ場合ニ於テハ臨時ニ會合スヘシ

- (1) 本條約ノ規定ニ依リテ會合スヘキトキ
- (2) 委員會幹部會ニ於テ、自己ノ發議又ハ締約國ノ一ノ要請ニ基キテ其ノ決定ヲ爲シタルトキ
- (3) 國際聯盟理事會ノ要求ニ基クトキ

第三十六條 本條約又ハ委員會議事規則中ニ別段ノ定メアルトキノ外委員會ノ決定ハ會合ニ列席スル委員ノ多數ヲ以テ之ヲ爲ス

委員會議事規則ノ採決ニ當リテハ少クモ締約國ノ半數カ會合ニ列スルニアラサレハ票決ヲ爲スコトヲ得ス
定足數ニ達セスシテ委員會ノ評議行ハレサルトキハ十五日ヲ經テ第二次會合ヲ招集スルコトヲ得、右ノ第二次會合ニ於テハ出席委員數ノ如何ヲ問ハス議事規則案ハ有效ニ採擇セラルルコトヲ得

委員會議事規則ノ修正ハ招集狀ニ右修正ノ目的カ明白ニ記載シアリタル場合ニアラサレハ有效ニ之ヲ審議スルコトヲ得ス

議事規則ノ採擇ニ必要ナル出席數ニ關スル本條前述ノ規定ハ右規則ノ修正討議ニモ適用セラルヘシ、加之修正案ノ採擇セラルル爲ニハ會合列席者ノ三分ノ二ノ多數ヲ要ス

第三十七條 委員會ノ一般經費ハ國際聯盟豫算中特別ノ一章ヲ構成ス

聯盟國ニアラサル締約國ハ右經費ノ合理ノ部分ヲ分擔スヘシ、右目的ノ爲スル締約國ト委員會事務總長トノ間ニ協定ヲ爲スヘシ

委員會委員、其ノ代理及専門家ノ旅費及滞在費ハ各自ノ本國政府之ヲ支辨ス

委員會事業ノ爲必要ノ經費ニ關シテハ委員會規則ヲ設クヘシ